

補足 実施計画（Ver 1）への意見と対応

- 公表時期： 令和3年10月15日～11月15日（1カ月）
- 公表方法： 都・都市整備局（協議会）ホームページに掲載 ※協議会ホームページにも案内
- 意見人数： 30人

<実施計画（Ver 1）への主な意見①>

	実施計画（Ver 1）への主な意見	対 応
(1)計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ○2050年カーボンニュートラルの具体的施策、超高齢者社会の具体的ソリューションを実証すべき。 ○目指すべき将来像が不明確 ○リニア開通の橋本駅と南大沢の差別化を検討すべき。 ○コロナ禍を経たpost-new normalの視点を織り込むべき。 ○若い世代が住みたいと思う支援策（子育て環境、職住近接、女性の就労機会拡大）を計画に組み込むことを希望。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カーボンニュートラルの具体施策（再生可能エネルギー・地域エネルギーマネジメント等）の検討、高齢者社会の具体施策（自動運転車いす・サービス付帯タクシー等）の実証を実施、今後も引き続き、具体的な検討・多様な実証 ●リニア開通等の周辺地区の将来動向を把握、南大沢の独自性を考慮した将来像として、ビジョンとコンセプトを検討、計画に位置付け、今後、効果的な具体施策を検討 ●コロナ禍における新たな施策（混雑情報サービス、サテライトオフィス等）も検討・計画に位置付け ●若い世代に対する施策（買物案内サービス・運搬ロボット、電動キックボード、地域SNS等）を検討・計画に位置付け
(2)モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ○駅と公園を密につなぐ施策（循環バス、ドローン活用等）の実施してほしい。 ○シェアサイクル・電動車いすを活用しやすい環境整備・機会提供が必要。 ○ZEV・燃料電池車の普及に向けて、現状では区内にEV充電設備や水素供給設備が殆どない駅前商業施設周辺等に早急に整備を進めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と公園をつなぐ施策として、今年度、電動シェアサイクル等の実証を実施。今後、新たなモビリティも含む最適な移動サービス等を検討・実施 ●これまで、電動シェアサイクルや自動運転車いすの実証を実施。今後の評価・検証を踏まえ、活用しやすい機会提供や環境設備について検討 ●ZEV設備等の導入は実施施策に位置付け。今後、関係者と連携により、具体的な検討・整備を推進

<実施計画（Ver1）への主な意見②>

	実施計画（Ver1）への主な意見	対応
(3)地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティを意識した計画にしてほしい。 ○小規模店舗の巻き込みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度、地域コミュニティの形成や活性化に関する具体施策を検討・企画し、計画に反映 ●まちの賑わいに関する実験を地元店舗等と協力して実施 今後も小規模店舗等とも協力した取組の推進に努める。
(4)まちづくりへの参画	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートシティのまちづくりへの参画機会を希望 ○障害者等のまちづくりへの参画機会の希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで、住民等へのアンケート調査やワークショップ、先端技術の実証・体験、オンラインイベント、パブリックコメント等を実施し、本取組への参画機会を創出。今後も障害者等を含む、多様な方が参加できる機会を検討・実施
(5)先端技術	<ul style="list-style-type: none"> ○都市OS等のデジタルインフラ整備方策について、計画の中で具体化すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会実装が可能な施策を中心に、必要なICTインフラの方向性について検討し、計画に反映。今後も具体的な検討や関係者との調整を継続して実施